

## 第 2 回地域ブロック連絡会議 研修班資料

### 平成 29 年度実務者研修会要件について

#### ①「社会資源の活用と創造」

平成 28 年度は活動と参加を大きく取り上げ対応を行ってきましたが、実際に活動・参加を行うためには利用者本人が主体的に積極的に取り組むための社会資源を考えなければなりません。利用者の生活圏にある社会資源の理解をする必要があり、更には地域リハに従事するセラピストとして、社会資源を創造することまでも必要と考えています。各都道府県にて実際に活動している事例を取り上げ、あるいは取り組んでいただき受講者と共有する場を設けようと考えています。インフォーマルサービスを探しに行く手法、作る手法、作らせる手法などを理解していきたいと思います。

#### ②「同職種連携」

これまで実務者研修会では他職種連携ということで複数年、要件を設けてきましたが、他職種も大事ですが、同職種間においても連携が計れているのか疑問が多いと思います。例えば急性期・回復期・老健・訪問リハ・通所リハ・外来リハ・地域事業などどのようなつながりを持って住民にサービス提供を行っているかを各フェイズで理解を深め、他職種よりも先に同職種連携を密にしていくことも重要と考えました。各フェイズでバラバラに発表するだけでなく、実際に明確に活動しているところがあれば情報を共有し、取り組みを理解し、どのでも当たり前同職種連携が出来るようにしていきたいと思っています。

またこれまでの要件についても各都道府県の必要性に応じて、プログラムに入れていただいても構いません。平成 29 年度、全国一律に取り組んでいく内容が上記 2 つの項目になるだけで、過去の要件を否定することではありません。

### 平成 29 年度管理者養成研修会について

別紙参照

### 事例収集の協力について

事例提出期間：2 月末・3 月末・4 月末

同意書は全ての事例で必要とする。

ご協力お願いします。

### 人材育成ガイドラインの改訂

平成 27 年 4 月の改定を受けた内容と平成 30 年の同時改定を見越した内容に改編  
通所、新総合事業、地域リハビリテーション活動支援事業を組み込み、広く「在宅リハビリテーション」としての内容を目指す。

平成 29 年度、1 年をかけて平成 30 年 5 月の地域リーダー会議で配布できるように取り組む。